

◆ ST上昇型急性心筋梗塞治療件数の推移と成績

急性冠症候群、とりわけST上昇型急性心筋梗塞では、医療機関受診から治療開始までのDoor-to-balloon time(DTBT)が延びるほど予後が悪くなると報告されています。ガイドラインでは医療機関受診後**90分以内にカテーテル治療を行う事を求めています**、当院では1分1秒でも早い再灌流を目指した取り組みを行っております。

項目	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
治療件数	31	47	50	49
平均年齢(歳)	68歳	70歳	70歳	70歳
性別(男性%)	77%	66%	74%	85%
心不全合併(%)	31%	30%	32%	36%
治療成功(%)	100%	100%	100%	100%
平均DTBT(分)	63	69	70	65
30日死亡(%)	6%	9%	8%	6%

(集計4月～3月)

